発行日：2015年4月1日

睦麿会通信

第14号

会員からの近況報告

体調維持のため近郊を散策し季節の移り変わりと色々な人に接するように心がけています。

秋田

まだ現役で鳴門電設で働いています。

天羽

今年はどうしても出席できません。来年は必ず出席したいと思います。平成27年度も久喜市鷲宮総合支所で臨時職員として働くことが決まっています。

浅川

テニスで地方遠征、奈良、仙台、北海道、山形、名古屋、軽井沢などの周遊や山行。大和三山、葛城山、蔵王熊野岳、西吾妻山、安達太良山、斜里岳、羅臼岳、幌尻岳、平が岳、武尊山、雨飾山を登る。

飯島

今年の正月早々腰の手術をしましたが、良く成って来ましたので、これで今年の厄落としになればと思っています。

遠藤

終い支度で自然が多く水と空気がきれいな山中湖村に昨年10月に移住しました。ずいぶん後片づけが出来ましたがそれでも50％、やはり理想はぴんぴんころりんでしようかね。スキーは継続しています。2月はニセコ、3月はフランスとスイスの国境近くのスキー場に行ってきます。

太田

昨春、脊柱管狭窄症になり、腰から右足首までの、しびれと痛みに苦しみました。私は整形の治療より、鍼灸が合ったのか、今では、しびれ、痛みも薄れ、日常生活は普通に出来ています。趣味の水彩画、史蹟巡り、多少の水泳、神社のお手伝い等頑張っております。次回参加できる様に心がけますので、よろしくお願い致します。

大谷

「臨兵闘者皆陣列在前」は、忍者が九字を切って印を結ぶ時の呪文です。これを時折、ボケ防止に唱えています。唱えた後は気持ちが落ち着きます。

大矢

相変わらず、腰痛と付き合いながら月4日パソコン教室のボランティアをしています。

小川

畑作業後に体力の衰えを実感する日々です。グチっても仕方ない。長年お世話になった体だ良く耐えてくれたと感謝しつつ過してます。

加藤

現在も東村山市内の施設で働いています、元気です。

佐々木

認知症予防のためボランティア活動をして頑張っていますが物忘れと体力の衰えには勝てず。
「万歩計　歩数の半分　探し物」
「3時間　待って病名　加齢です」

関

あいかわらず一病息災、元気に過しています。4月に金婚式を迎えます。良くここまで付いてきてくれたと妻に感謝しています。

塚原

相変わらずの老後の生活です。まあまあ健康ですがたまのボランティアとたまのカラオケで、あとはパソコンとにらめっこ。これでいいのかと自問自答してます。

富田

日一日と春めいてきました今日この頃です。ご案内頂きましたが階段で転びまして左脇腹骨折いたしまして現在治療中です。この歳での骨折は何かと応えています。残念ながら会の参加は今回できませんので宜しくお願いします。会の盛会をお祈りいたします。

中野

頭（物忘れ）、眼、歯と老化現象が出ておりますが元気にしております。

西村

なんとか日常生活をこなしています。

古田

63歳でリタイア、5年当用日記を購入　今年は3冊目がスタート、内容はともかく書き終えたい。

松田

昨年、年を経て無用になった故障部品一つを体内から取り外しました。日常生活には何ら影響なく、少しばかり身軽になりました。

松村

近年、認知症のお話が身近でも多くなり、この際と思い１０００頁余のテキスト３巻を勉強し、介護職員初任者研修に合格しました。
幸い73歳でも雇ってくれる処がありましたので、３月から有料老人ホームに勤めます。そのため申し訳ありませんが欠席させて頂きます。まだ健康で元気ですので、しばらく勤めながら、若い人々ともお友達になりながら、やがて来る自分の認知症のための知識を深めようと思います。

町田

お陰様で、ゴルフを楽しみながら一年を過ごす事が出来ました。

森田

相変わらず地域の自治会、防災組織であれこれ元気にやっています。

守屋

今年は早々にインフルエンザのため１月中はダラダラしていましたが、最近は３月29日の多摩ロードレース出場のため歩いたり走ったりしています。出席の皆様のご健勝を祈っております。

吉住

皆様に逢える日を楽しみに生きてゆきます。昭島に住んでいる田舎者

和田

訃報

本欄で毎回体調不良の便りがあった斯波　さんが２月６日肺癌の為逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

5月17日、読売新聞のインターネットニュース「YOMIURI ONLINE」によると、日本無線株式会社（ＪＲＣ）は2015年9月までに、三鷹製作所（東京都三鷹市）を閉鎖し、国内の開発・生産機能を長野市に新設する拠点に集約すると伝えた。

「ＪＲＣ」ブランドの無線機器で知られ、過去にはアマチュア無線機や民生用の短波受信機も製造していた日本無線だが、グループ内の工場集約による合理化と生産機能の強化することを目的に、開発拠点だった東京都三鷹市の三鷹製作所からの移転を2014年12月以降に本格化させると同紙は伝えている。日本無線と同様「日清紡ホールディングス」の傘下にある関連会社、長野日本無線の約3万平方メートルの隣接地へ約100億円を投じ、生産拠点を整備。グループ全体の技術開発の中核となる「先端技術センター」は2014年11月に完成させ、来年3月完成予定の工場では、自治体が使う防災無線機などの生産を行うという。
なお日本無線がこれまで開発拠点としてきた三鷹製作所を閉鎖する方針は2013年初から公表されており、2013年5月にはその受け皿が長野日本無線になることが報道されてきた。今回の読売新聞の報道は、その時期や新たな生産拠点の規模、集約される人員などを明確にした点が注目される。